

「商品 CFD 取引契約締結前交付書面・注意喚起文書」新旧対照表

平成28年1月23日（下線部分変更）

新	旧
<p><b>商品 CFD 取引のリスク等重要事項について</b>  <b>商品 CFD 取引について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本取引は当社がお客様の相手方となって取引を成立させる相対取引となります。当社がお客様に提示する CFD 価格は、原資産の価格を参照して当社が独自に提示する価格であり、原資産の価格で約定することを保証するものではありません。</li> <li>・本取引に際しては、当社が別途定める証拠金を担保として預託していただきます。</li> </ul> <p><b>商品 CFD 取引のリスクについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本取引は、原資産の価格を参照して行う取引であるため、原資産の価格の変動や為替相場の変動により損失が生ずることがあります。また、取引金額がその取引についてお客さまが預託すべき証拠金の額の 20 倍の額までのお取引（レバレッジ 20 倍）を行うことが可能です。</li> <li>・1 単位のお取引をしますと相場が 1 ドル変動した場合、1 ドルの利益・損失が出ることとなります（※原資産が原油・銀の場合は、相場が 1 ドル変動した場合、10 ドルの利益・損失が、<u>天然ガス</u>の場合は、相場が 1 ドル変動した場合、100 ドルの利益・損失が出ることとなります。）。</li> </ul>	<p><b>商品 CFD 取引のリスク等重要事項について</b>  <b>商品 CFD 取引について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本取引は当社がお客様の相手方となって取引を成立させる相対取引となります。当社がお客様に提示する CFD 価格は、原資産の価格を参照して当社が独自に提示する価格であり、原資産の価格で約定することを保証するものではありません。</li> <li>・本取引に際しては、当社が別途定める証拠金を担保として預託していただきます。</li> </ul> <p><b>商品 CFD 取引のリスクについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本取引は、原資産の価格を参照して行う取引であるため、原資産の価格の変動や為替相場の変動により損失が生ずることがあります。また、取引金額がその取引についてお客さまが預託すべき証拠金の額の 20 倍の額までのお取引（レバレッジ 20 倍）を行うことが可能です。</li> <li>・1 単位のお取引をしますと相場が 1 ドル変動した場合、1 ドルの利益・損失が出ることとなります（※原資産が原油・銀の場合は、相場が 1 ドル変動した場合、10 ドルの利益・損失が出ることとなります。）。</li> </ul>

新	旧
<p>・取引に必要な証拠金が、取引額の5%であるのに対して、利益・損失は、取引額を基準に発生しますので、ご注意ください。</p> <p>・商品CFDにおいて、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。</p> <p>価格調整額は、参照市場の最終営業日の前に当社が定める日において参照原資産の交代を行うため 期近と期先の価格差を基に算出します。</p> <p>・原油先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間（2015年9月末時点を起点とします。以下同じ。）の平均は約2ドルです。</p> <p>また、2008年9月22日には高値と安値の価格差が26.65ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で266.5ドルの利益または損失が発生する可能性があります。（上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <p>・天然ガス先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間（2015年9月末時点を起点とします。以下同じ。）の平均は約0.2ドルです。</p> <p>また、2005年12月22日には高値と安値の価格差が1.6ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で164ドルの利益または損失が発生する可能性があります。</p> <p>（上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のもので</p>	<p>・取引に必要な証拠金が、取引額の5%であるのに対して、利益・損失は、取引額を基準に発生しますので、ご注意ください。</p> <p>・商品CFDにおいて、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。</p> <p>価格調整額は、参照市場の最終営業日の前に当社が定める日において参照原資産の交代を行うため 期近と期先の価格差を基に算出します。</p> <p>・原油先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間（2013年9月末時点を起点とします。以下同じ。）の平均は約2ドルです。</p> <p>また、2008年9月22日には高値と安値の価格差が26.65ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で266.5ドルの利益または損失が発生する可能性があります。（上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <p>（新設）</p>

新	旧
<p>す。参考情報としてご活用ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーン先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>13</u>ドルです。 また、2013年7月12日には高値と安値の価格差が<u>99.5</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>99.5</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・大豆先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>25</u>ドルです。 また、2008年4月1日には高値と安値の価格差が<u>123.5</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>123.5</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・金ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>19</u>ドルです。 また、2013年4月15日には高値と安値の価格差が<u>159.5</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>159.5</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・銀ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーン先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>10</u>ドルです。 また、2011年6月30日には高値と安値の価格差が<u>93.5</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>93.5</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・大豆先物の1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>22</u>ドルです。 また、2008年9月12日には高値と安値の価格差が<u>255</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>255</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・金ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約<u>15</u>ドルです。 また、2011年9月26日には高値と安値の価格差が<u>129</u>ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で<u>129</u>ドルの利益または損失が発生する可能性があります。 (上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。)</li> <li>・銀ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約</li> </ul>

新	旧
<p>0.6ドルです。</p> <p>また、2011年9月23日には高値と安値の価格差が6.7ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で67ドルの利益または損失が発生する可能性があります。</p> <p>（上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 白金ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約29ドルです。</li> </ul> <p>また、2008年3月17日には高値と安値の価格差が184ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で184ドルの利益または損失が発生する可能性があります。</p> <p>（上記の価格差、最大損益の数値は2015年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <p>当社の商品CFDは原資産の価格に連動しますので、上記の事例を参考に相場変動の予測をお願いいたします。</p>	<p>0.5ドルです。</p> <p>また、2011年9月23日には高値と安値の価格差が6.7ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で67ドルの利益または損失が発生する可能性があります。</p> <p>（上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 白金ドルの1日の高値と安値の価格差の過去10年間の平均は約24ドルです。</li> </ul> <p>また、2008年3月17日には高値と安値の価格差が184ドルであり、その場合、1単位のお取引をされますと、最大で184ドルの利益または損失が発生する可能性があります。</p> <p>（上記の価格差、最大損益の数値は2013年9月末時点のものです。参考情報としてご活用ください。）</p> <p>当社の商品CFDは原資産の価格に連動しますので、上記の事例を参考に相場変動の予測をお願いいたします。</p>

以 上